

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		認定農業者等育成事業						予算事業名		認定農業者等育成事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分						
				06	01	03	1201	経常経費	根拠法令					
総合計画体系		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)							事業の区分		主要事業			
		3-1元気あふれる農業の振興(農業)												
		②担い手農業者の確保・育成・支援							担当課係等		農政課			
		1地域における担い手農業者の確保・育成									農政係			
事業期間		継続 (年度～ 年度)												
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
認定農業者が、生産施設等の整備拡充や高性能農業機械を導入することで、より効率的に農業経営を行う。							農業制度資金を活用し、農業者が安定した経営を行い、生産拡大が図れるように、茨城県とともに利子助成を行っている。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
認定農業者が、自らの農業経営において必要とする施設等を融資を活用し、整備する場合において、その利息分を助成することで負担を軽減する。 ・農業経営基盤強化資金利子助成事業 補助率 県1/2, 市1/2 (県負担分を補助金として受け市が全額助成する) ・農業災害資金利子助成事業(平成26年2月上中旬の大雪等の災害・平成27年9月の大雨による災害) 補助率 県1/2, 市1/2 (県・市別々に補助する)							認定農業者等							
							【事業をとりまく環境の変化】 農業経営においては、農業従事者の高齢化及び後継者不足などにより、労働力が不足がちであるため、施設の整備・高性能農業機械の導入など農業経営の効率化・省力化が求められている。							
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】						
農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)及び農業災害資金の借入者に対し、その利息分を助成する。				農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)及び農業災害資金の借入者に対し、その利息分を助成する。				農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)及び農業災害資金の借入者に対し、その利息分を助成する。						
■事業費														
				H29年度		H30年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0							
	県		支	出	金	83	120							
	地		方		債	0	0							
	そ		の		他	0	0							
	一		般	財	源	118	152							
歳入計(千円)				201		272								
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)								
	19 負担金補助及び交付金			201		272								
歳出計(千円)(A)				201		272								
伸び率(%)						35.32								
備考	総合計画96ページ 予算書116ページ													

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	助成件数	件	目標	25.00	25.00	25.00
			実績	25.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	認定農業者数	人	目標	300.00	300.00	300.00
	平成30年3月末現在の認定農業者数		実績	252.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	農業者の負担を軽減し、経営の安定化を支援する必要がある。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政及び金融機関以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	各金融機関と連携を図り、効率的な手段を執っている。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	金融機関へ事務の一部を委任し、市が補助するため最も効率的である。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	目的とした対象者に対しては平等な対応をしている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	資金を借りることで、規模拡大を目指す意欲的な農業者が増えた。また災害への対応を行っている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	認定農業者や天災などの被災農業者への特別措置など状況にあった対応ができています。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
認定農業者等の経営規模の拡大に伴う設備投資に係る資金の借り入れに対しての利子助成であるため、事業目的に則しており、利子負担の軽減によって、農業経営改善の後押しとなっている。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
農業者が必要な資金を利用できるように農業制度資金を周知する。各関係機関との協力・連携を推進していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 当該事業は、農業者への支援であることから、事業の周知並びに関係機関の連携を強化していく。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置 企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。